

## 全国健康保険協会（協会けんぽ）との連携について（案）

### 1 事業の連携について

#### （1）背景

- ① 市国民健康保険の特定健診受診率および特定保健指導実施率が低迷している。
- ② 協会けんぽは、被扶養者のがん検診を実施していない。
- ③ 市は、国民健康保険加入者のデータしか把握していないため、市全体の健康課題の把握が難しい。
- ④ 企業等に対し、市は現在「健幸宣言」を募集しており、協会けんぽは8月から「健康づくりアクション宣言」事業を実施予定。

#### （2）連携の内容と効果

- ① 協会けんぽが集団で行う特定健診と特定保健指導の機会に、市国保加入者が受診できるようにすることで、受診者の利便性が高まり、特定健診の受診率や特定保健指導の実施率の向上が期待できる。
- ② 協会けんぽの集団健診会場で、がん検診を同時受診できるようにすることで、市のがん検診の受診率向上が期待できるほか、健診自体の魅力が高まり、市国保加入者の特定健診の受診率向上が期待できる。
- ③ 協会けんぽから従業員の健康データを提供してもらうことにより、より多くの市民の健康データを分析することができ、市の健康課題に合った的確な施策を講じることができる。
- ④ 健幸宣言や健康づくりアクション宣言をした企業の情報を共有することにより、市は、協会けんぽを通じて企業への働きかけ等を行いやすくなる。

### 2 県内の事業連携の状況について

市	協定締結日	特定健診 同時実施	特定保健 指導利用	特定保健 指導受入	がん検診
大津市	平成 26 年 5 月 13 日	○実施	○実施	×未実施	×未実施
東近江市	平成 26 年 9 月 22 日	○実施	×未実施	×未実施	○実施

（平成 27 年度時点）